

【写真アルバム】 神戸のランドマーク 市章山に登る

0803kobe00.htm 2008. 3. 1. by Mutsu Nakanishi



神戸は六甲連山と海に挟まれた東西に長い街。この街の背後の連山に「イカリ」のマークと神戸の市章が刻まれている。昼は緑 夜は青と橙の電飾で飾られ、神戸の市街地からはどこからでも見える。特に海から港に入るとこの電飾が美しく輝いていて、「神戸」に帰ってきたと思う神戸のシンボルである。

昔々 県庁の裏の諏訪山公園から登った記憶はあるのですが、とんと登ったことがなく、神戸に帰って 元町や三宮に出る機会が多くなって、この電飾の上に立ってみたいと・・・。

ボカボカ暖かい午後 県庁の横まで行って、用事を済まして、時間が空いたのでふらっと登ってみようと諏訪山公園から登って 約1時間ほどで「錨山」と「市章山」のピークに立ってきました。

ボカボカ陽気の陽だまりハイク「あの電飾 どないなっているのやろう??」ただそれだけの野次馬根性ですが、早春空気が澄んでいて 素晴らしい大阪湾から明石海峡の展望が楽しめました。



中山手通り3丁目 NHK 前より ミカエル国際学校越しに左 錨山 右 市章山

1. 県庁裏の諏訪山公園から登って ビーナスブリッジへ

ビーナスブリッジは再度山ドライブウェイを走らせてもすぐ行けるので、若い人たちの夜のデートスポット。

ちょっと古いですが、「100万ドルの夜景」が楽しめるすばらしい場所。

年寄りが、一人で行く場所でもないのですが、県庁の横からまっすぐ北に諏訪山公園にて、山肌の林の中につけられた散策路を20分ほどで再度山ドライブウェイを跨いでループ上に

展望台の橋がかけられている。今日も つい先ほどの街の喧騒がうそのような静かな山中に、三宮・元町・メリケンパークを真ん中に大阪湾沿いのすばらしい景色が広がっていました。

夜はもっと素晴らしいのですが、まあ 若い人たちのスポットです。

でも 三宮や元町の街中を抜けて ぶらぶら散策歩きしても1時間ほどで行け、また すぐ街中に戻れるところ。神戸にきたら 一度は是非。



諏訪山公園 諏訪神社周辺 2008. 2. 14.



神戸市街地の展望所 金星台 ビーナスブリッジ 2008. 2. 14.



ビーナスブリッジから見た神戸市街地 2008. 2. 14.

2. 浜訪山 ビーナスブリッジから「錨」の電飾のある「錨山」へ

ビーナスブリッジの高台から、一旦ドライブウェイに出て、さらに北へ10分ほど行ったところから、ドライブウェイと離れて細い枝尾根筋を登って行くと、鉄条網に囲まれた谷筋の端。ぱっと視界が開け、左手には錨山から市章山など東へ連なる山々が南へ幾つもの尾根になって山肌を右手の海側に落とし、その向こうに神戸の市街地のパノラマが広がっている。左手錨山の山肌の上に小さな丘があり、そこを頂点に弧状に谷筋が鉄条網で囲まれ、刈り込まれた背の低い樹木でイカリのマークが作られ、その端に沿って作られた垣の支柱に電飾の電球すえつけられているのが見える。こうなっているのか・・・と。



錨(イカリ)山電飾

錨(イカリ)山の標高269m地点に設置

24V、20W 白熱球を使用。

総灯球数 368 灯。

1 球置きに 2 系統に分割。

うち 1 系統がマリンブルーに灯る。

平常は 184 灯のみ点灯。

神戸市民の特別な日(1月17日、ルミナリエ、神戸まつりなど)、祝日等にマリンブルーの電球を点灯。

横幅 51m、縦幅 60m、

周囲全長 372m。

点灯時間: 日没 30 分前~23 時



「錨」の電飾のある「錨山」 2008. 2. 14.

谷の斜面がでこぼこしているので、全体の姿はよく見えない。左手に谷筋に沿って丘の上に立つ。

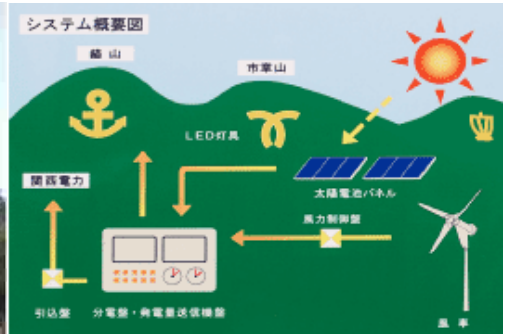
やっぱり、上からもイカリの形はよく見えないが、神戸の市街地のパノラマは素晴らしい。

ビーナスブリッジから見る神戸の市街地の正面がちょうど元町・メリケンパーク方面だったが、ここからはポートアイランドが正面になっている。

また、このすぐ後ろ右手が市章山であるが、山の陰になっていて市章山の電飾は見えない。

また さらに右手奥に 少し離れて もうひとつ帆掛け舟の電飾があるピークがあるのですが、よく見えない。

また、この丘の周辺には大きな風力発電の風車や太陽電池パネルが置かれている。



風力太陽光発電システム概要図

もともとは後ろの市章山との間の尾根筋にある風力発電設備で、これらの電飾の電力をまかなっていたようですが、老朽化し、この発電設備をストップし、今は周辺の風力発電設備・太陽電池で発電した電力を関西電力に売電すると共に、関西から電力供給を受けてこの電飾を作動させているという。

また、錨のマークは白熱球で、青・橙の2系統があり、交互に配置されていて 通常は橙 特別な日には青の灯がともるといふ。そういえば、ルミナリエの灯が青だったので、色が変わったのか・・・と思った覚えがある。

また、市章のマークはLED電球だといふ。

確かに、マークの縁をめぐる垣に同じように張り巡らされた電飾なのですが、その電球は少し違うようだ。



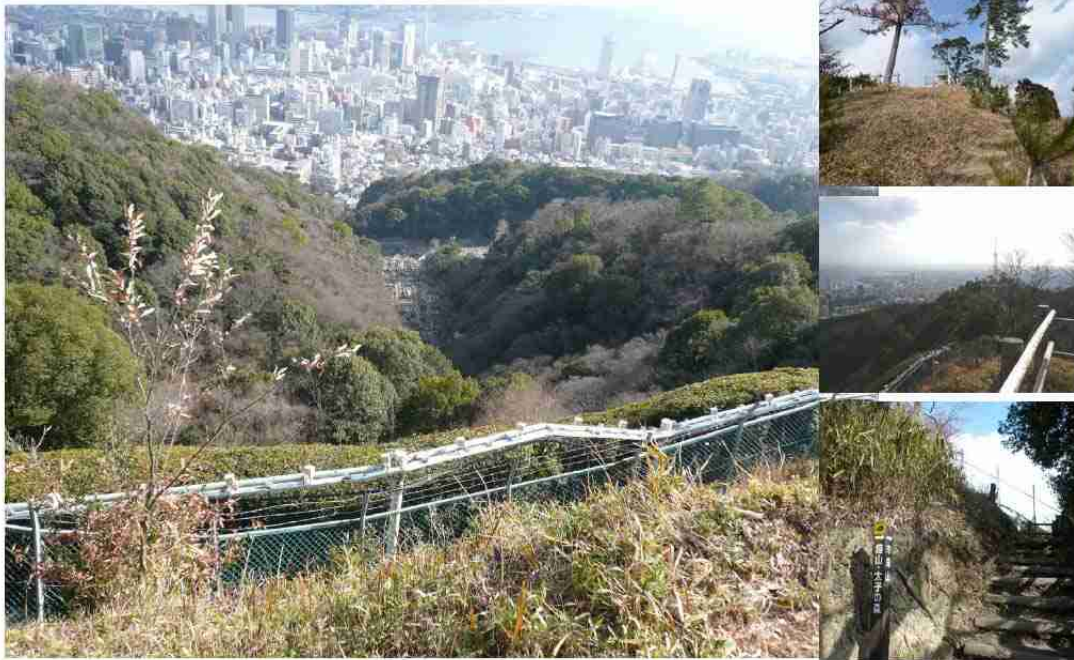
錨山の電飾 青・橙の2系統の白熱球



市章山の電飾 橙のLED球

3. 「錨山」から ひと登り「市章山」へ

錨山の丘から谷を離れ、北へこの丘を回りこんで尾根筋を北に木々の間を抜け、旧の風力発電設備の塔を抜けるとまた、ドライブウェイにぶつかる。そのドライブウェイのすぐ縁のところから、上ってゆく階段とその向こうにまた、鉄条網が見える。この階段を登りきると錨山と同じように視界が開け、鉄条網の向こうの谷に「市章」の電飾が谷一杯に設置されていました。谷の上には頂上にまっすぐ1本の木が立っている小高い丘がみえ、これが、市章山の頂上で鉄条網に沿ってそこへ道が続いている。



市章山の電飾

市章山の標高 275m 地点に設置

横幅 30m、縦幅 27m、
周囲全長 154m。

2.6WLED 電球を使用。

総灯球数 126 灯。

点灯時間:

日没 30 分前～23 時

市章山からの市街地 展望 2008. 2. 14.



市章山からの眺望 2008. 2. 14.

ここからの神戸市街地のパノラマも素晴らしい。

やはり、電飾全体はよく分からないが、市章の電飾の下のふもとに追谷墓園が見え、谷の右側には先ほど登ってきた錨山のピークが尾根筋に見えている。このピークで出会った人も 電飾の全体の形をマジかで見たいと思って登ってきたが、残念だと。

やっぱり、山は下から見ているのと登ってそこに立つのでは本当に違う。

でも 神戸の市街地からほんの 1 時間足らず、ぶらぶら登るとこんな静かで眺望のいい場所に立てる。

神戸ならではの である。

4. 「市章山」から 林の中 尾根道を追谷墓園から山本通へ降る



市章山を見上げる



木々の間から錨山の電飾が見える



市章山から 林の中 尾根道を追谷墓園から山本通りへ

2008.2.14.

市章山の上でしばらく 神戸のパノラマをながめて、街へ下る。

電飾がどんな風になっているのか その道筋を見れて満足。でも さっきの人が行っていたように、二つの電飾全体がそれぞれ見られると思ってもいたので、やっぱり ちょっと残念。

下り道のどこかで全体が見えないかと、今度は錨山から東側の追谷墓園へ この谷筋の下に回り込む道を探しながら下りる。道は林に囲まれた尾根道 ちらちらと木々の間から電飾が見えましたが、結局錨マークは見えず、市章も追谷墓園に下るまで、見えませんでした。

墓園の入り口を出ると再度山のドライブウェイの上り口に出て、山裾を東へ北野へ結ぶ山本通り。

トアロードにぶつかったところで、トアロードの坂を元町へ下る。

中山手通りとの交差点のところにNHKがあり、ここから見上げると聖ミカエル国際学校の十字架の左右に錨のマークと市章が見えるポイント。昨年暮れ ルミナリエの夜 ここからこの神戸のランドマークの写真を撮ったので、同じポイントで 昼の写真を撮る。

早春の陽だまりハイク 神戸の素晴らしい大パノラマも見られたし、寒い間 家の中でなまっていた気楽な足慣らしになりました。



神戸お勧めのお気楽コースです。 中山手通3丁目 NHK 前より 聖ミカエル国際学校の十字架越し左右の「錨」と「市章」